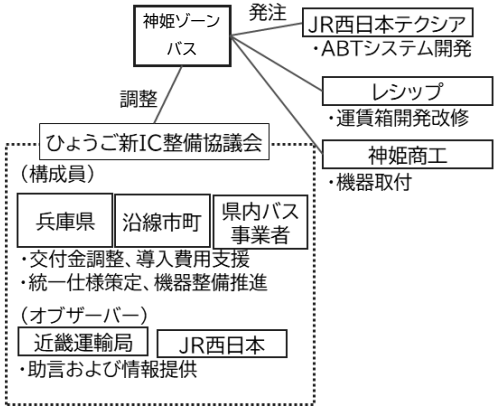
16 ABTサービスおよび計数式運賃箱の導入 ｜ 神姫ゾーンバス株式会社

プロジェクト概要	兵庫県内におけるICカードの交通利用環境の整備にあわせ、全国共通交通系ICカードのカードIDをキーとして、定期券・回数券相当サービスを、1枚のICカードでシームレスに利用できる環境を構築する。また、乗車実績のデータ化を進めるため、ICカード以外に現金の計数も可能な運賃箱を導入する。
課題	● バスの定期券・回数券を独自規格ICカードで実現しているが、鉄道では使えないなど、他交通モードとの関連づけることが困難。また、現金利用の実績も取得できないため、適切な輸送のあり方、キャッシュレス方針などが打ち出しにくい。
取組内容	● ICカードおよび運賃収受を行うための運賃箱について、整理券バーコード読取・投入硬貨計数機能を搭載したものを導入する。これにより、ICカード以外のODデータを取得することが可能となり、乗車実績標準データに準拠した実績を出力する。出力したデータは、社内における分析資料作成のほか、総合交通計画の策定や地域公共交通会議での議論資料に活用する。 ● ハウスIC・全国共通ICで、データの内容が異なることから、全てのサービスを全国共通ICベースに切り替えることで、データの統一を図る。現在、ハウスICで提供している「定期券（CBT：カード内チップに記録するタイプ）」「プレミア付きSF」を、各車両に搭載する車載機に通信機器を追加し、全国共通ICのID活用による「クラウド定期券（ABT：カードIDに紐づく乗車券情報を配信し乗降判定に活用）」「ポイントサービス」に置き換える。対象は関西エリアで発行するICOCA・PiTaPaのみとする。
事業要件	● 標準業務モデルの導入によるサービス品質向上（標準化）
技術要件	● 乗降実績データ標準仕様書（鉄道・バス）
効果	● キャッシュレス（IC）移行が推進され、乗降実績のデータ化がさらに進む。また、IDに紐づくことで、他交通と連携した分析ができる。利用者は1枚のICカードで、ストレスフリーかつお得に利用できる。

事業実施自治体・エリア	兵庫県神戸市・三木市
交通事業者	神姫ゾーンバス
アプリ・システム等	■ システム：iCONPASS、レシップ ■ データの取得方法：運賃箱で収集する交通系ICカード、現金利用のデータを使用 ■ データの活用方法：事業計画や運行計画への反映、OD調査、キャッシュレス率算定

座組



スケジュール

4～6月　要件定義
7～10月　システム開発
1月　サービス開始・効果測定

Copyright © 2026 by MLIT. All rights reserved.